

たより

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8

TEL：0173-57-9022

E-mail：t_gijyutu_c@maff.go.jp

HP：http://www.rinya.maff.go.jp

/tohoku/syo/gizyutu/

令和5年度 東北森林管理局森林・林業技術交流発表会

令和6年1月31日（水）～2月1日（木）に、東北森林管理局において、令和5年度森林・林業技術交流発表会が開催されました。この発表会は、東北森林管理局管内の東北5県（福島県を除く）の民有林や国有林における森林・林業・木材産業の活性化を推進するための技術開発や、地域で実施している取組を発表する場として毎年開催されているものです。

今年度は、局・署等のもとより、県・高校・大学など幅広い機関から計41課題の発表があり、当センターからは、森林技術部門において「2条3条植栽による下刈の省力と多様な森林づくり」と題して発表を行いました。

当課題は、低密度植栽の実施に伴う問題（多節・大節になる、下刈・除伐の回数が多くなる、不良木の淘汰ができず低質な林分になる等）を解決するための方法として、植栽木を密集させて2条植え・3条植えにより密度効果（多節・大節の防止、早期樹冠閉鎖による競合植生の抑制等）を発揮させるとともに、非植栽区域を設けて下刈^{ぼうが}実行面積の削減を図ることができるのか、また、非植栽区域にて、萌芽力等を活用した天然更新を行い、カラマツと広葉樹の針広混交林を造成することで「多様な森づくり」ができるのかについて、平成31年度～令和4年度までに調査した結果をまとめて発表したものになります。

また、同課題は2月9日に開催された青森県森林・林業・木材関係研究発表会においても発表し、青森県内の森林・林業・木材関係者等に当センターの取組を普及しました。（業務係長 岡本）



（森林・林業技術交流発表会の様子）



（発表する岡本業務係長）

令和5年度国有林野事業技術開発委員会・部会

令和6年2月20日（火）に林野庁において、令和6年度国有林野事業技術開発委員会・部会が行われました。本委員会は技術開発委員会委員として学識経験者や地域林業関係者を交えて毎年同時期に開催されています。

昨年度に引き続きWeb会議によるリモート開催となり、各局で検証している技術開発について計16課題の報告がありました。森林技術・支援センターでは、中間報告として『カラマツ挿し木コンテナ苗による植栽試験（技術開発期間：令和2年度～令和6年度）』、完了報告として『多雪寒冷地における大苗植栽の特性について（技術開発期間：平成28年度～令和5年度）』の報告をしました。

カラマツ挿し木試験は、種子が豊凶の影響を受けるため恒常的に不足しているカラマツについて、北海道で開発された新たな「挿し木コンテナ苗」技術を東北育種場において試験したところ高い得苗率を示し、挿し木苗の増殖が可能となったことから、国有林のフィールドを活用し実用化へ向けた検証を行っています。大苗植栽試験は、多雪環境における大苗の使用が、下刈及び保育において低コスト化となるかについて、東北地方における大苗植栽の特性を明らかにし、実用化へ向けたデータの蓄積を目的とし検証を行い、令和5年度までの調査データを取りまとめ、その結果を報告しました。

その他、各局が取り組んでいる技術開発についても報告があり、学識経験者や地域林業関係者による貴重なコメントをいただき技術開発に関する知見を広げることができました。今後の当センターの技術開発業務に生かし、実用化へ向けた検証を継続していきたいと考えております。

（森林技術普及専門官 新岡）



（カラマツ挿し木試験地成長量調査）



（大苗植栽試験地成長量調査）

～編集後記～

今年度の「技術開発課題」に取り組むにあたり、ご協力いただきました関係各位の皆さま、大変ありがとうございました。引き続き、来年度もよろしく申し上げます。

